

# 認定書

国住指第 333 号  
令和 3 年 6 月 23 日

ケイミュー株式会社  
代表取締役 社長 木村 均 様  
吉野石膏株式会社  
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3593-2
2. 認定をした構造方法等の名称  
人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・ポリスチレンフォーム板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。





























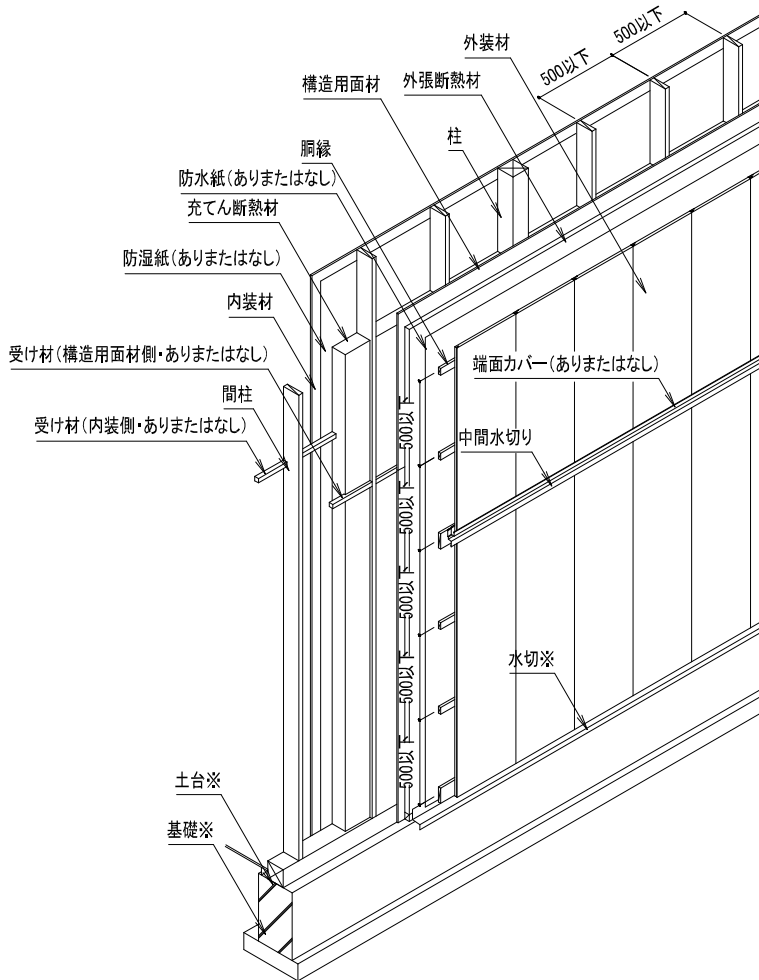




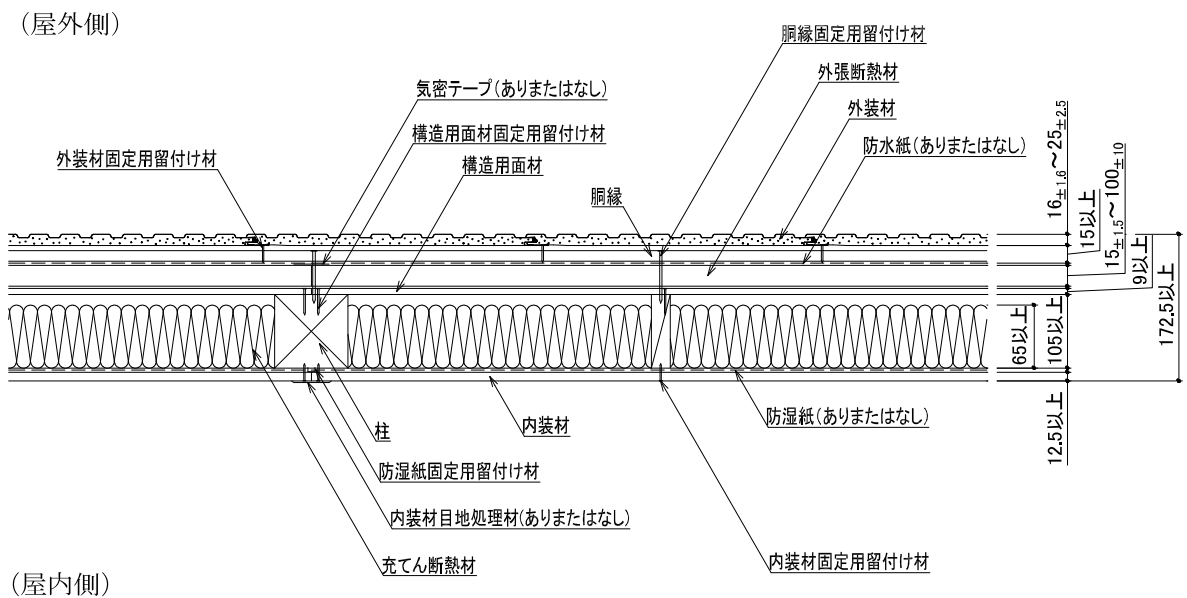
4. 構造説明図

斜視図

(寸法単位：mm)



水平断面図



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

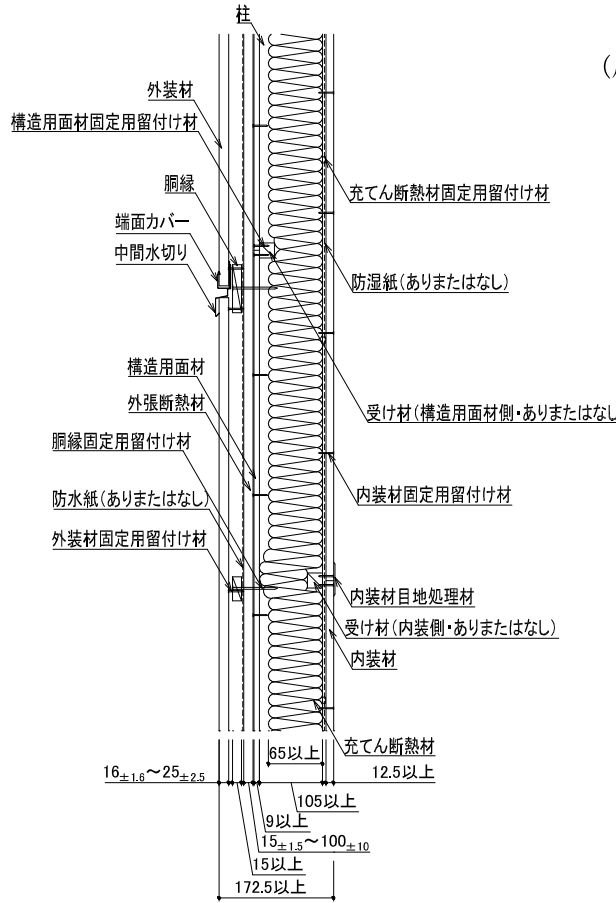
※：本認定内容に含まない

鉛直断面図

(屋外側)

(屋内側)

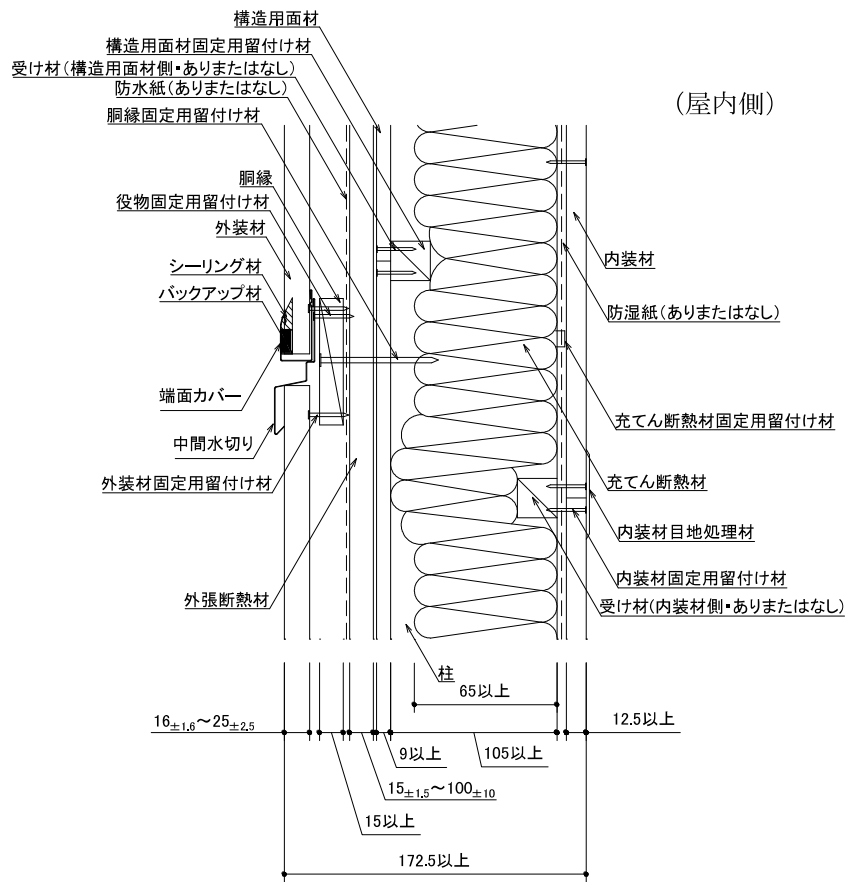
(寸法単位：mm)



鉛直断面図 (横目地部詳細図)

(屋外側)

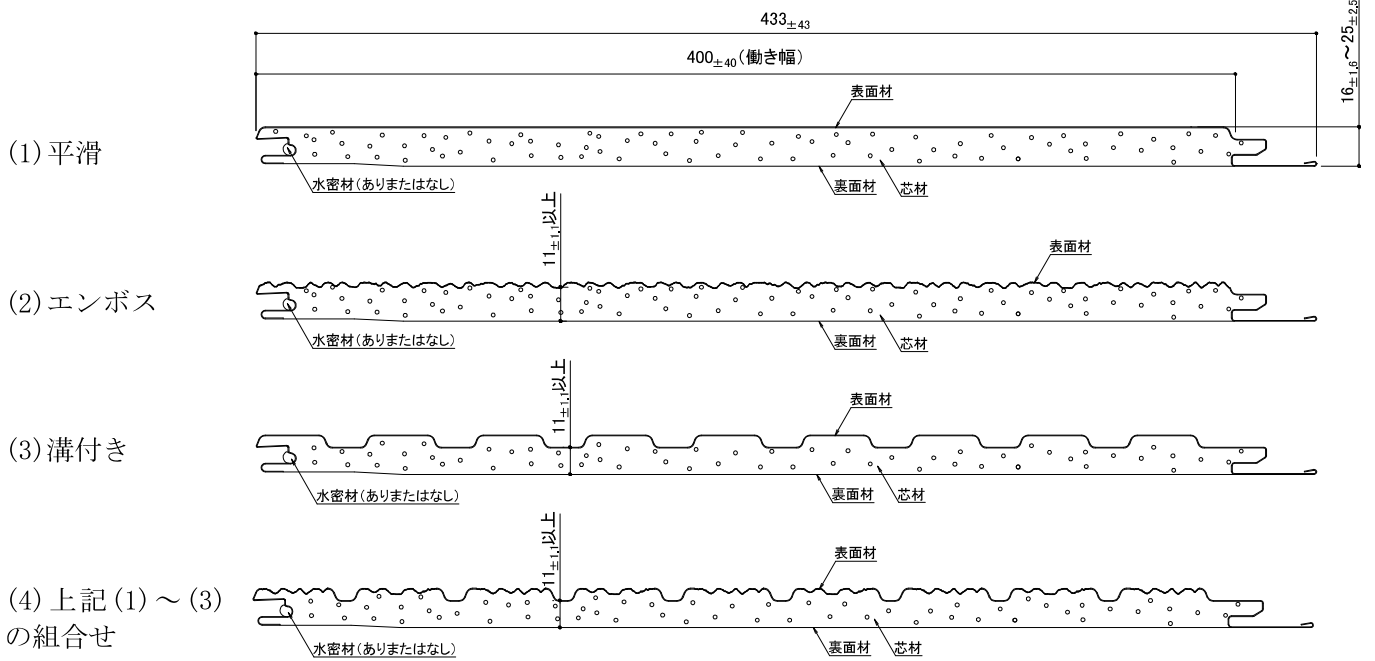
(屋内側)



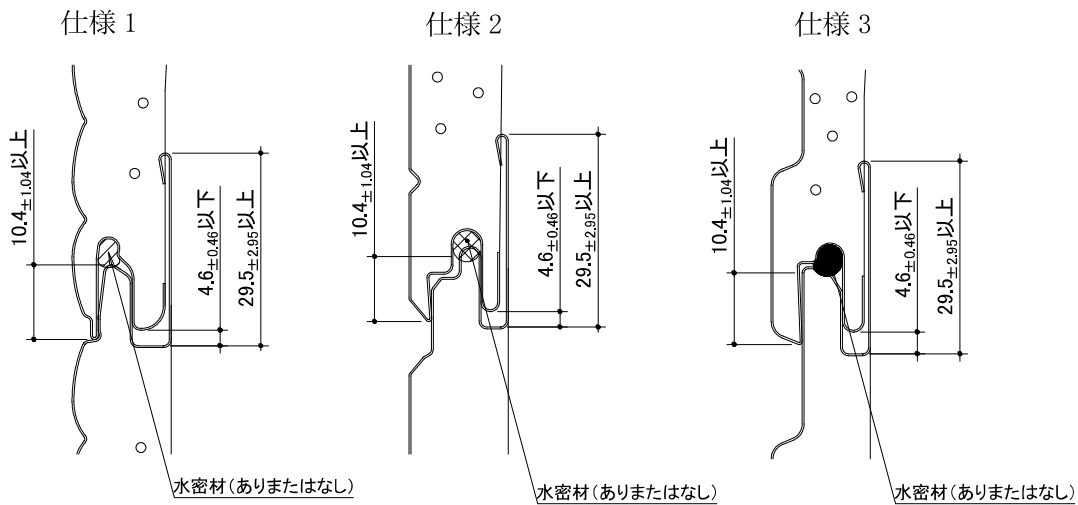
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材形状（断面）の代表例

(寸法単位：mm)



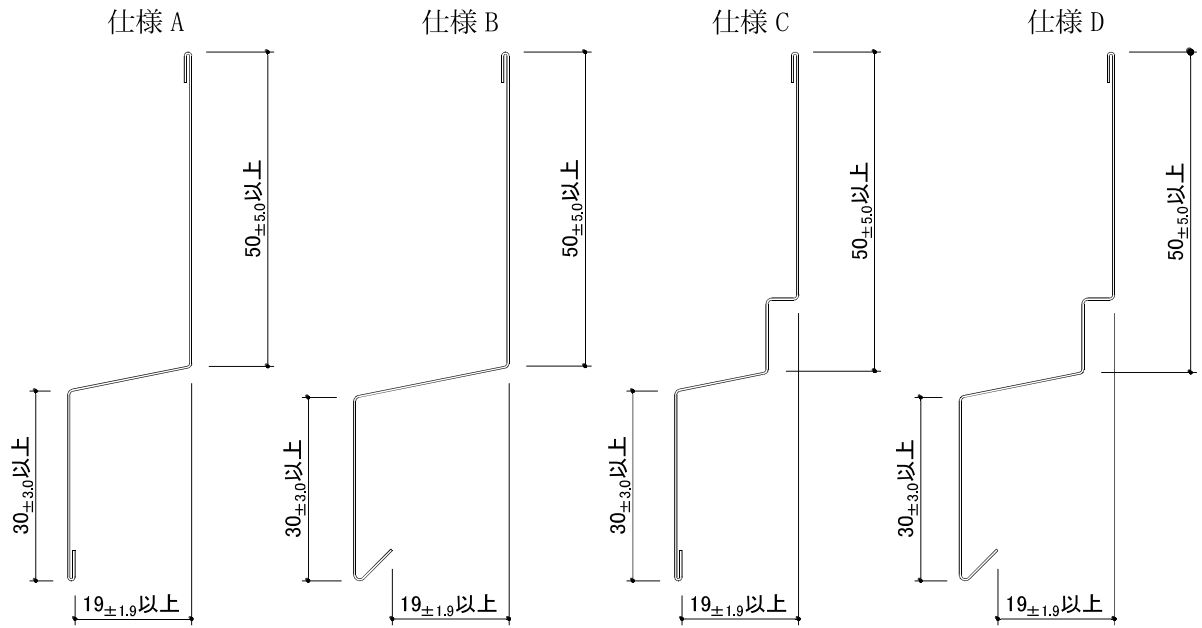
外装材形状（接合部）の代表例



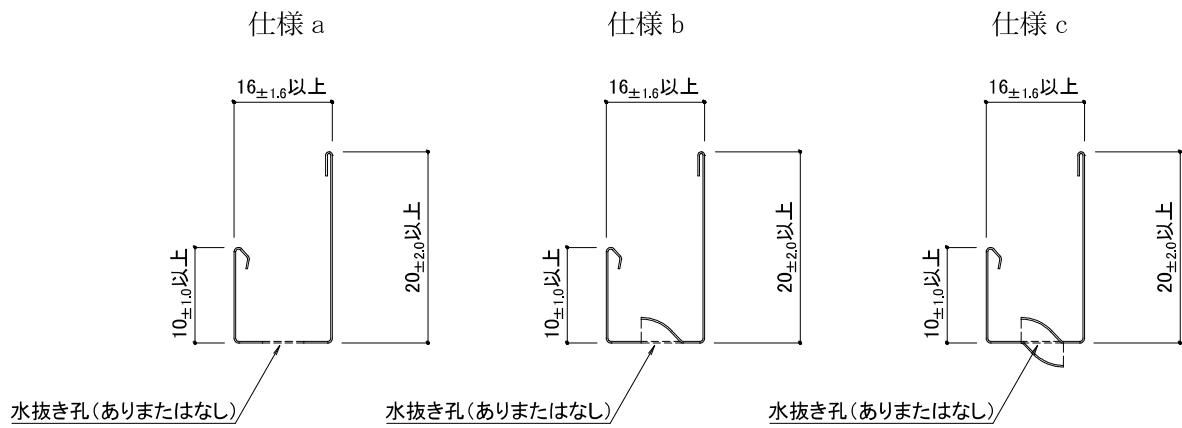
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材接合部材（中間水切り）の代表例

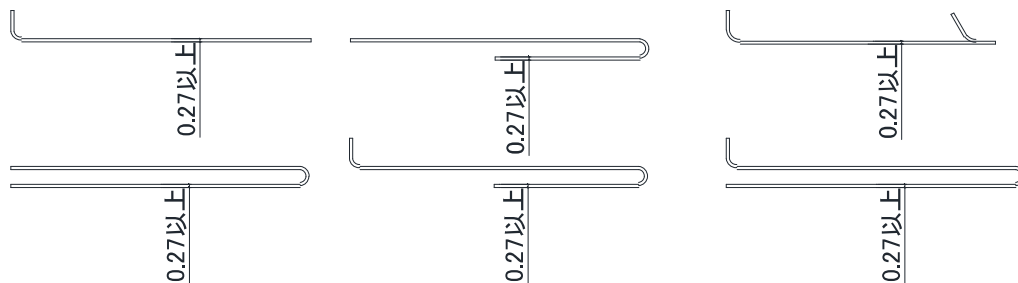
(寸法単位：mm)



外装材接合部材（端面カバー）の代表例



補強金物の代表例



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

〈施工図〉

## 4. 構造説明図と同じ

〈施工手順〉

## (1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。

構造用面材を荷重支持部材、間柱、受け材に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

## (2) 充てん断熱材の取付け

荷重支持部材及び間柱の間に充てん断熱材を入れ、ステープルを用いて取付ける。

## (3) 外張断熱材の取付け

構造用面材の上に外張断熱材を取付ける。必要に応じてくぎ、ねじ、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いてもよい。

## (4) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

## (5) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

## (6) 胴縁の取付け

荷重支持部材または間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

## (7) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

## (8) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

- ・役物(中間水切り)を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

- ・役物(端面カバー)を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

## (9) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

## (10) 内装材の取付け

内装材はくぎ又はねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布し、必要に応じて縦目地、その他の部分にも塗布する。

また、必要な場合はジョイントテープを用いる。